

大東文化歴史資料館だより

第15号 2013. 11. 30

(承前) 大東文化学院時代の中国への修学旅行の二つの記録、「大東文化学院第壹回支那大陸旅行記」(奥付なし)、「燕吳遊蹤 第二回支那大陸旅行記」(昭和6年(1931)7月5日発行、第二回旅行は昭和5年(1930)夏に実施)について、資料解説。

大東文化学院時代の中国旅行記 (二)

歴史資料館運営委員・中国学科准教授 吉田 篤志

第一回旅行の日程は、第一回旅行記の「旅行略図」「旅行日程表」「旅行日誌」に拠ると、7月22日(月)より9月8日(日)までの49日間で、鉄道で東京より三ノ宮へ、船(郵船長崎丸)で神戸港より長崎を經由して上海に上陸、鉄道で上海→杭州→上海→蘇州→南京へ、南京より船(日清汽船岳陽丸)で長江を上り、南京→漢口(武漢)(日清汽船沅江丸に乗換え)→[岳州(岳陽)より洞庭湖を経て湘江を上り]→長沙→岳州(岳陽)→武昌・漢陽・漢口(武漢三鎮)(日清汽船大福丸に乗換え)→九江→南京へ、南京より長江を渡って甬口へ、鉄道で甬口→曲阜→泰安→済南→天津→北平(北京)→青龍橋(八達嶺)→南口(明十三陵)→北平(北京)→天津へ、天津より船(大連汽船天潮丸)で渤海を渡って大連に上陸、鉄道で大連→旅順→大連→奉天(瀋陽)→撫順→奉天(瀋陽)→安東(丹東)→[鴨緑江を渡り朝鮮半島へ]→京城(ソウル)→釜山へ、釜山より関釜連絡船で馬関(下関)に上陸、解散する。メンバーは、団長は峰間信吉教授、団員は角田清八郎・原田稔・田中稲積・河又正司・寺尾正一・相良恵・渡邊義衛・井上健之助(以上高等科第3学年)、岩本吉高・島田湖山(以上本科第3学年)、計11名である。

第二回旅行の日程は、第二回旅行記の「燕吳紀遊略図」「支那旅行日程」「旅行日記」等に拠ると、7月25日(金)より9月5日(金)までの43日間で、鉄道で東京より三ノ宮へ、船(郵船長崎丸)で神戸港より長崎を經由して上海に上陸、鉄道で上海→杭州→上海→蘇州→南京→上海へ、上海より船(大連汽船奉天丸)で青島を經由し、山東半島を迂回して渤海海峡を渡って大連へ上陸、鉄道で大連→旅順→大連へ、大連より船(済通丸)で天津に上陸、鉄道で天津→北平(北京)→南口(明十三陵)→[驢馬にて八達嶺に登る]→青龍橋(八達嶺の麓)→北平(北京)→天津へ、天津より船(淡路丸)で渤海を渡って営口に上陸、鉄道で営口→奉天(瀋陽)→撫順→奉天(瀋陽)→安東(丹東)→[鴨緑江を渡り朝鮮半島へ]→平壤(ピョンヤン)→京城(ソウル)→釜山へ、釜山より関釜連絡船で下関に上陸、解散する。メンバーは、団長は細田謙蔵教授、団員は平野彦次郎教授以下、片岡静男・佐藤



徳四郎・中原政一・多田羅準一・濱中清・大橋太郎・比嘉俊成・川又武・佐野厚・白木豊・姉崎岩蔵（高等科第3学年）・山田修次・小川大舜・朱柄乾、計16名（団員名簿が無いので、前編感想文・後編研究論文の執筆者を掲げた。団員ではない安井小太郎は除く）である。

以下に第一回旅行記と第二回旅行記の目次を掲げるので、大凡の内容を理解されたし。

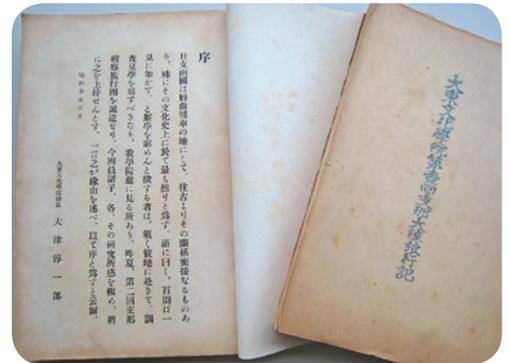
第一回旅行記目次

第一編 日誌

略図・日程表・団員名簿・日誌

第二編 感想

支那旅行の感想	相良恵
感想録	河又正司
支那を旅行して	井上健之助
感想	原田稔
群盲摩象瑣言数則	寺尾正一
鴻爪録	角田清八郎
支那旅行中の感想	岩本吉高
支那大陸視察旅行感想	島田湖山
感想	田中稻積
支那に於ける儒道仏三教に就て	渡邊義衛
感謝の辞	峰間信吉



第二回旅行記目次

前編 紀游

凡例	記録係
旅行日記（第二回大陸旅行記游）	記録部：川又武・濱中清
感想	教授 平野彦次郎
日支親善に就いて	片岡静男
日支親善の第一歩	佐藤徳四郎
支那の社会につきて	中原政一
我観支那国民性	多田羅準一
日支親善と二三の希望	濱中清
支那の今日と東亜の将来	大橋太郎
対支関係の将来	比嘉俊成

附録

寄贈図書目録	
蠹魚漫録（附：学者省別表）	川又武
芳名録	

後編 研究

凡例	記録係
朱子学概要	教授 安井小太郎
対聯に就いて	佐野厚
明器雑考	白木豊
曲阜（附：日記）	渡部實一
南画の研究	姉崎岩蔵
常平思想の発展と常平倉	川又武
支那学校史	山田修次
支那に於ける大乘禪の承伝に就いて	小川大舜
泰山と廬山（附：泰山案内）	第四回卒業者 小林清八郎
朝鮮案内	朱柄乾
編輯後記	

* 所蔵資料紹介 * 2013年度受贈資料から

『第一回全日本中等学校生徒優秀作文選』

冊子『第一回全日本中等学校生徒優秀作文選』（昭和12年5月30日発行）。大東文化大学第一高等学校事務長・金山弘通氏より、受贈しました。

主催・冊子発行は、ともに大東文化協会出版部となっており、日本全国の旧制中学校生徒たちによる作文コンテストの結果と、57人の優秀作品が収められたものです。テーマは特に定めずに募集したようで、自由な題材で様々な作文が投稿されました。大東文化学院教授7人が審査員を務め、作文の応募総数は700点にのぼったと記されています。



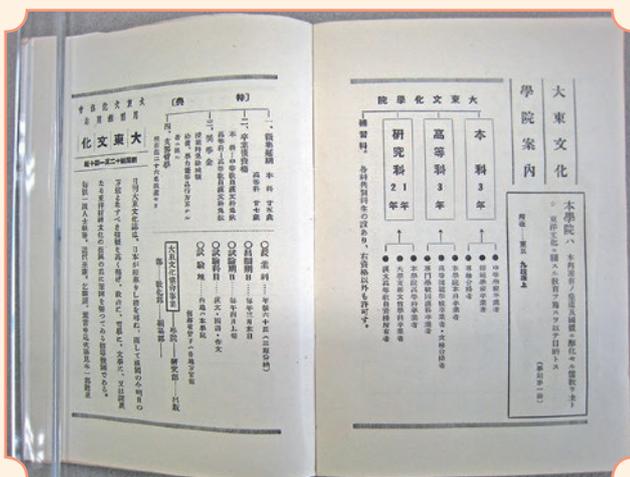
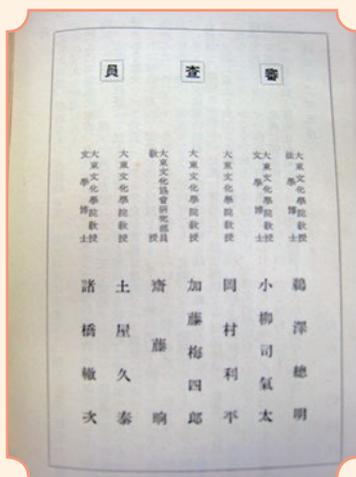
懸賞付で行われた第一回作文コンテストは、もともと作文の応募資格を「日本国内中等学校」在籍者、つまり男子に限ったものとして開催したはずでした。しかしなぜか、高等女学校の女子生徒たちからも30点の応募があり、また満州国の中学生からも2点の応募があったため、それらも審査し、その優秀作品には「特別賞」を与えた旨が付言されています。

第一回目この年は、残念ながら「一等」該当者はなし。「二等」2名、「三等」7名が選ばれました。また、「特別賞」が、満州国の中学生1名と鹿児島的高等女学校生徒1名の計2名に授与されました。その他、佳作品を含め、全部で57点の作文が本冊子に掲載されています。高等女学校生徒たちの作文も、「特別賞」の作品「桜島」を含め、全5点が選ばれ並びました。

本学では現在、大東文化大学主催の「全国高校生作文コンテスト」が行われています。本年2013年度は第50回という節目の年でした。今も「作文」を通じた学びの精神は受け継がれています。

なお、本資料の巻末には、「大東文化学院案内」が記載されています。昭和12年頃の広告記事を窺うことができ、貴重な資料となっています。

(歴史資料館運営委員 浅沼薫奈)



<資料寄贈ご協力のお願い>

大東文化歴史資料館（大東アーカイブス）では、学園に関わる資料を広く収集しています。教科書・講義ノートのほか、写真・映像、機関誌・新聞など、ご提供いただけるものや情報がありましたら、ご連絡ください。

また、本年は学徒出陣から70年目に当たります。他大学においても「大学と戦争」に関し、意欲的な取り組みが多角的に行われています。敗戦から70年近く経った今、戦争を経験した同窓生の多くが90歳を迎えようとしています。大東文化における戦争の時代の記録を残し、調査研究を進めていくため、関係資料の収集・関係者からの聞き取り調査を積極的に行っていきたく考えています。

大東アーカイブス 第15回 企画展

90周年記念事業と『大東文化大学の歩んできた道』

展示期間：平成25年12月2日(月)～3月31日(月)

(開室時間 毎週月～金曜日 9:00～17:00)

展示場所：大東文化歴史資料館 展示室(板橋校舎2号館1階)

2013(平成25)年9月20日、大東文化学園は創立90周年を迎えました。

今回、90周年事業として多くの企画が実行されました。限定の各種記念品も多数作られ、多方面の方々から好評を得ました。

それら周年事業活動の一つとして、歴史資料館では90周年記念ブックレット『大東文化大学の歩んできた道』を刊行いたしました。大東文化90年の歩みをわかりやすく伝えるため、従来の年史と比べてコンパクトなものにし、構成内容も読みやすいものとなるよう工夫しています。

今回の企画展では、前回の第14回企画展「大東の周年記念事業 ～10周年から80周年までを振り返る～」から引き続き、「90周年記念事業と『大東文化大学の歩んできた道』」展を開催いたします。刊行した90周年ブックレットで紹介した写真のほか、紙幅の関係で収録しきれなかった写真、90周年記念事業の内容等を公開し、ご紹介することに致しました。

ご高覧いただければ幸いです。

【大東アーカイブス活動記録】(2013年4月～2013年9月)

- | | |
|--|--|
| 4. 6 自校史教育「現代の大学」① | 6. 8 自校史教育「現代の大学」⑧ |
| 4. 17 合同部会会議 | 6. 15 自校史教育「現代の大学」⑨ |
| 4. 20 自校史教育「現代の大学」② | 6. 17 第14回企画展「大東の周年記念事業 10周年から80周年までを振り返る」公開 |
| 4. 25 全国大学史資料協議会東日本部会幹事会参加 | 6. 22 自校史教育「現代の大学」⑩ |
| 4. 27 自校史教育「現代の大学」③ | 6. 24 総務課より資料移管 |
| 5. 2 立教学院、展示室調査見学のため来館 | 6. 29 自校史教育「現代の大学」⑪ |
| 5. 10 ブックレット制作会議
大東文化大学第一高等学校より資料移管 | 7. 6 自校史教育「現代の大学」⑫ |
| 5. 11 自校史教育「現代の大学」④ | 7. 11 全国大学史資料協議会東日本部会幹事会・研究会参加 |
| 5. 13 西南学院大学、活動内容調査見学のため来館 | 7. 13 自校史教育「現代の大学」⑬ |
| 5. 14 管理課より資料移管 | 7. 20 自校史教育「現代の大学」⑭ |
| 5. 15 合同部会・運営委員会会議
渡壁秀保氏(大学6期生)より資料受贈 | 7. 31 河田泰弘氏より資料受贈 |
| 5. 18 自校史教育「現代の大学」⑤ | 8. 7 板橋図書館書庫棟所蔵資料(総務課管轄資料)移管確認 |
| 5. 20 ブックレット制作会議 | 9. 9 NHKアンケート対応
野間教育研究所より問合せ対応 |
| 5. 25 自校史教育「現代の大学」⑥ | 9. 12 河田泰弘氏より資料受贈 |
| 5. 27 ブックレット制作会議 | 9. 20 大東文化学園創立90周年・記念式典開催
90周年ブックレット『大東文化大学の歩んできた道』刊行 |
| 5. 29 全国大学史資料協議会東日本部会総会参加 | 9. 30 河田泰弘氏より資料受贈 |
| 5. 31 ニュースレター「大東文化歴史資料館だより」vol.14発行 | |
| 6. 1 自校史教育「現代の大学」⑦ | |

大東文化歴史資料館だより

第15号

DAITO ARCHIVES NEWSLETTER Vol.15

発行：2013年11月30日

編集発行：大東文化歴史資料館

〒175-0083 東京都板橋区徳丸 2-19-10

大東文化大学徳丸研究棟

TEL 03 (5399) 7646 / FAX 03 (5399) 7647

URL : <http://www.daito.ac.jp/information/about/archives/index.html>